
バイオ後続品使用体制加算

当院では、厚生労働省の後発医薬品・バイオ後続品の使用促進の方針に従い、後発医薬品（ジェネリック医薬品）及びバイオ後続品（バイオシミラー）を積極的に採用しています。

高額なバイオ医薬品に代わって、患者様や医療保険制度の負担軽減が出来る薬品のため、バイオ後続品を使用することにご理解、ご協力をお願い致します。

バイオ医薬品をお使いのみなさまへ

効果や安全性はそのまま 経済的負担を軽減する



「バイオシミラー」 というお薬があります

バイオシミラーとは？

- ジェネリック医薬品と同じように、先行バイオ医薬品の特許が切れた後に他の製薬会社から発売されるお薬です
- 先行バイオ医薬品と同等/同質の品質、安全性および有効性が様々な試験により確認されています
- 先行バイオ医薬品よりも低価格なため、患者さんの医療費負担の軽減が期待されます

バイオシミラーが使われている 病気の例

- ・がん・クローン病・潰瘍性大腸炎・関節リウマチ
- ・パーチェット病・強直性脊椎炎・特発性関節炎
- ・乾癬・低身長症・糖尿病・腎性貧血・骨粗鬆症
- ・ファブリー病・加齢黄斑変性 など

詳しくは医師または医療スタッフへお尋ねください

笑顔をこれからも 日本が世界に誇る国民皆保険を次の世代にも

個人の医療費負担の軽減はもちろん、子供や孫の世代にも安心した医療を
みんなが受けられる国民皆保険制度を守るためにも、
私たち一人一人が考えてみませんか？

詳しくはこちら



日本ジェネリック医薬品・
バイオシミラー学会HP



日本バイオシミラー
協議会HP

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会、日本バイオシミラー協議会、厚生労働省

<後援> 日本医師会 日本薬剤師会 日本病院薬剤師会 健康保険組合連合会 国民健康保険中央会 全国健康保険協会
協会けんぽ